

令和6年度事業報告書

学校法人塚本学院
大阪芸術大学グループ

令和6年度 学校法人塚本学院 事業報告書

I. 法人の概要

◇基本情報

①法人の名称

学校法人塚本学院

②主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス

主たる事務所の所在地 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
電話番号 / FAX番号 TEL 06-6692-7487 / FAX 06-6691-9255
ホームページアドレス <https://www.osaka-geidai.ac.jp/>

◇建学の精神

大阪芸術大学

自由の精神の徹底
創造性の奨励
総合のための分化と境界領域の開拓
国際的視野に立つての展開
実用的合理性の重視

大阪芸術大学短期大学部

大阪芸術大学短期大学部は、
日本国憲法に則り、
私学の本分を尽くし、
世界の平和と人類の福祉に貢献することを目的とする。
また、広く知識を求めて学術の研究に励み、
専門的技術の習熟に努め、
もって心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

自由の精神の徹底
創造性の奨励
総合のための分化と境界領域の開拓
国際的視野に立つての展開
実用的合理性の重視

◇学校法人の沿革

昭和20年	(1945) 初代理事長・学長故塚本英世により、平野英学塾創設。
昭和21年	(1946) 財団法人浪速外国語学校(3年制)を創立。平野英学塾を発展的解消。
昭和26年	(1951) 浪速外国語短期大学英语科及び学校法人浪速外国語学院を創立。
昭和27年	(1952) 大阪幼稚園教員養成所を設置。
昭和28年	(1953) 浪速外国語短期大学附属幼稚園を設置。
昭和29年	(1954) 浪速外国語短期大学に保育科を増設と同時に大阪幼稚園教員養成所を発展的解消。 浪速外国語短期大学を浪速短期大学に改称。巡回保育青い鳥幼稚園を開始。
昭和30年	(1955) 浪速短期大学に通信教育部保育科を増設。
昭和32年	(1957) 大阪美術学校(各種学校)を設置。
昭和33年	(1958) 浪速短期大学附属照ヶ丘幼稚園を設置。
昭和34年	(1959) 大阪市東住吉区矢田に法人本部を移転。
昭和35年	(1960) 浪速短期大学にデザイン美術科及び広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
昭和37年	(1962) 浪速短期大学に商業科及び専攻科デザイン美術専攻を増設。
昭和38年	(1963) 浪速短期大学通信教育部にデザイン美術科及び広報(マス・コミュニケーション)科を増設。
昭和39年	(1964) 浪速芸術大学芸術学部美術学科及びデザイン学科を設置。
昭和41年	(1966) 学校法人浪速外国語学院を学校法人塚本学院に改称。浪速芸術大学を大阪芸術大学に改称。
昭和42年	(1967) 大阪芸術大学芸術学部建築学科及び文芸学科を増設。
昭和43年	(1968) 大阪芸術大学芸術学部音楽学科及び放送学科を増設。浪速短期大学附属金剛幼稚園を設置。
昭和44年	(1969) 大阪音楽センターを設置。
昭和45年	(1970) 大阪芸術大学芸術学部写真学科及び工芸学科を増設。大阪芸術センターを設置。
昭和46年	(1971) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科、音楽教育学科及び演奏学科並びに映像計画学科を増設。
昭和47年	(1972) 大阪音楽専門学校(各種学校)を設置。 米国美術大学連盟加盟校との夏期特別セミナー(第1回)を開講。以後、毎年本学及びカリフォルニア美術工芸大学等を会場として交互に開講。 第1回日韓3大学デザイン美術交流展開催。以後、大阪及びソウルを会場として開催。
昭和48年	(1973) 大阪芸術大学芸術専攻科(美術、デザイン、建築、文芸、音楽各専攻)を設置。
昭和49年	(1974) 大阪芸術大学芸術学部舞台芸術学科及び芸術計画学科を増設。
昭和50年	(1975) 学院創立30周年記念式典を挙行。
昭和53年	(1978) 大阪芸術大学芸術専攻科(写真、工芸、音楽教育、演奏各専攻)を増設。 大阪音楽専門学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪音楽学校(各種学校)に改称。
昭和56年	(1981) 大阪美術学校(各種学校)を大阪芸術大学附属大阪美術専門学校(専修学校)として設置。 塚本英世記念館芸術情報センターを設置。
昭和57年	(1982) 大阪芸術大学・浪速短期大学附属泉北幼稚園を設置。
昭和60年	(1985) 学院創立40周年記念式典を挙行。
昭和61年	(1986) 大阪芸術大学芸術学部映像計画学科を同映像学科に名称変更。浪速短期大学伊丹学舎竣工。
昭和62年	(1987) 第1回日中交流作品展を上海で開催。以後、隔年に大阪と上海で開催。 学校法人塚本学院白浜研修センターを設置。
平成 4年	(1992) 学校法人塚本学院菅平高原研修センターを設置。
平成 5年	(1993) 大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(修士課程)を設置。
平成 7年	(1995) 学院創立50周年記念式典を挙行。大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)を設置。
平成 9年	(1997) 大阪芸術大学大学院芸術制作研究科(修士課程)を設置。
平成12年	(2000) 浪速短期大学を大阪芸術大学短期大学部に名称変更。
平成13年	(2001) 大阪芸術大学に通信教育部芸術学部美術学科、デザイン学科、建築学科、文芸学科、音楽学科、放送学科、写真学科、工芸学科、映像学科、環境計画学科を設置。
平成14年	(2002) 大阪芸術大学博物館を設置。
平成15年	(2003) 大阪芸術大学芸術学部環境計画学科を環境デザイン学科に改称。
平成17年	(2005) 学院創立60周年記念式典を挙行。 大阪芸術大学大学院芸術文化研究科(博士課程)及び芸術制作研究科(修士課程)を芸術研究科博士課程[前期・後期]に改組。

大阪芸術大学芸術学部 キャラクター造形学科を増設。大阪芸術大学短期大学部商業学科を経営デザイン学科に名称変更。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 キャラクター造形学科を増設。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校デザイン工学科を総合デザイン学科に名称変更。

平成19年 (2007) 大阪芸術大学テレビ開局。

平成20年 (2008) 大阪芸術大学はたるまちキャンパス開設。

平成22年 (2010) 大阪芸術大学芸術学部 初等芸術教育学科を増設。大阪芸術大学通信教育部芸術学部 初等芸術教育学科を増設。

大阪芸術大学短期大学部 経営デザイン学科をビジネス学科に、広報学科をメディア・芸術学科に名称変更。

平成25年 (2013) 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校に総合アート学科を増設。

平成26年 (2014) 大阪芸術大学スカイキャンパス開設。

平成27年 (2015) 学院創立70周年記念式典を挙行。

平成29年 (2017) 大阪芸術大学芸術学部 アートサイエンス学科を増設。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 総合アート学科をコミック・アート学科に名称変更。

◇設置する学校・学部・学科等

大阪芸術大学
大学院 芸術研究科

芸術学部 美術学科 デザイン学科 建築学科 文芸学科 音楽学科 放送学科
写真学科 工芸学科 映像学科 演奏学科 舞台芸術学科
芸術計画学科 キャラクター造形学科 初等芸術教育学科
アートサイエンス学科
通信教育部

大阪芸術大学短期大学部
保育学科 メディア・芸術学科 デザイン美術学科
通信教育部

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
総合デザイン学科 コミック・アート学科
芸術研究科

大阪芸術大学附属松ヶ鼻幼稚園
大阪芸術大学附属照ヶ丘幼稚園
大阪芸術大学附属金剛幼稚園
大阪芸術大学附属泉北幼稚園

学生動態

大阪芸術大学 (令和6年5月1日現在)

学科名	定員		令和5年度 卒業生数	1年次 入学生数	3年次 編入学生数	在学生数
	入学	収容※				
美術学科	70	235	58	102	14	374
デザイン学科	190	760	237	223	25	957
建築学科	50	200	50	64	1	248
文芸学科	60	240	68	68	3	289
放送学科	140	605	134	135	5	592
写真学科	50	140	38	45	0	188
工芸学科	30	150	36	30	5	151
映像学科	80	320	87	90	4	390
舞台芸術学科	170	680	161	155	6	678
芸術計画学科	45	135	37	37	0	173
キャラクター造形学科	160	610	160	193	20	834
音楽学科	55	190	31	58	1	219
演奏学科	65	305	70	81	2	313
初等芸術教育学科	30	120	23	34	1	129
アートサイエンス学科	50	290	67	35	1	182
総計	1,245	4,980	1,257	1,350	88	5,717

※収容定員は学年進行による

大阪芸術大学大学院 (令和6年5月1日現在)

研究科名	課程	専攻	定員		令和5年度 修了生※	1年次生	2年次生	3年次生	在学生数
			入学	収容					
芸術研究科	前期課程	芸術文化学	20	40	5	4	5		9
		芸術制作	60	120	29	37	37		74
	後期課程	芸術	20	60	3	7	4	6	17
総計			100	220	37	48	46	6	100

※満期退学者を含む

大阪芸術大学通信教育部 (令和6年6月14日現在)

学科名	定員		令和5年度 卒業生数	令和6年度 入学生数*	在学生数
	入学(編入学)	収容			
美術学科	150(30)	660	8	59	217
デザイン学科	100(20)	440	14	57	212
建築学科	200(30)	860	30	53	320
文芸学科	150(30)	660	5	35	165
写真学科	100(20)	440	7	12	66
音楽学科	200(40)	880	10	157	622
初等芸術教育学科	50(15)	280	4	21	76
総計	950(185)	4,220	78	394	1,678

*編入学を含む

大阪芸術大学短期大学部 (令和6年5月1日現在)

学科名・専攻名	定員		令和5年度 卒業生数	令和6年度 入学生数	在学生数
	入学	収容※			
保育学科	40	140	65	26	78
メディア・芸術学科	160	320	117	121	259
デザイン美術学科	220	380	169	206	407
総計	420	840	351	353	744

※収容定員は学年進行による

大阪芸術大学短期大学部通信教育部 (令和6年6月12日現在)

学科名・コース名	定員		令和5年度 卒業生数	令和6年度 入学生数*	在学生数
	入学(編入学)	収容※			
保育学科					
幼稚園コース	—	—	152	—	170
保育コース	—	400	52	—	76
総計	—	400	204	—	246

※保育学科幼稚園コースは令和5年度より、保育コースは令和6年度より学生募集を停止。

※収容定員は学年進行による

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

(令和6年5月1日現在)

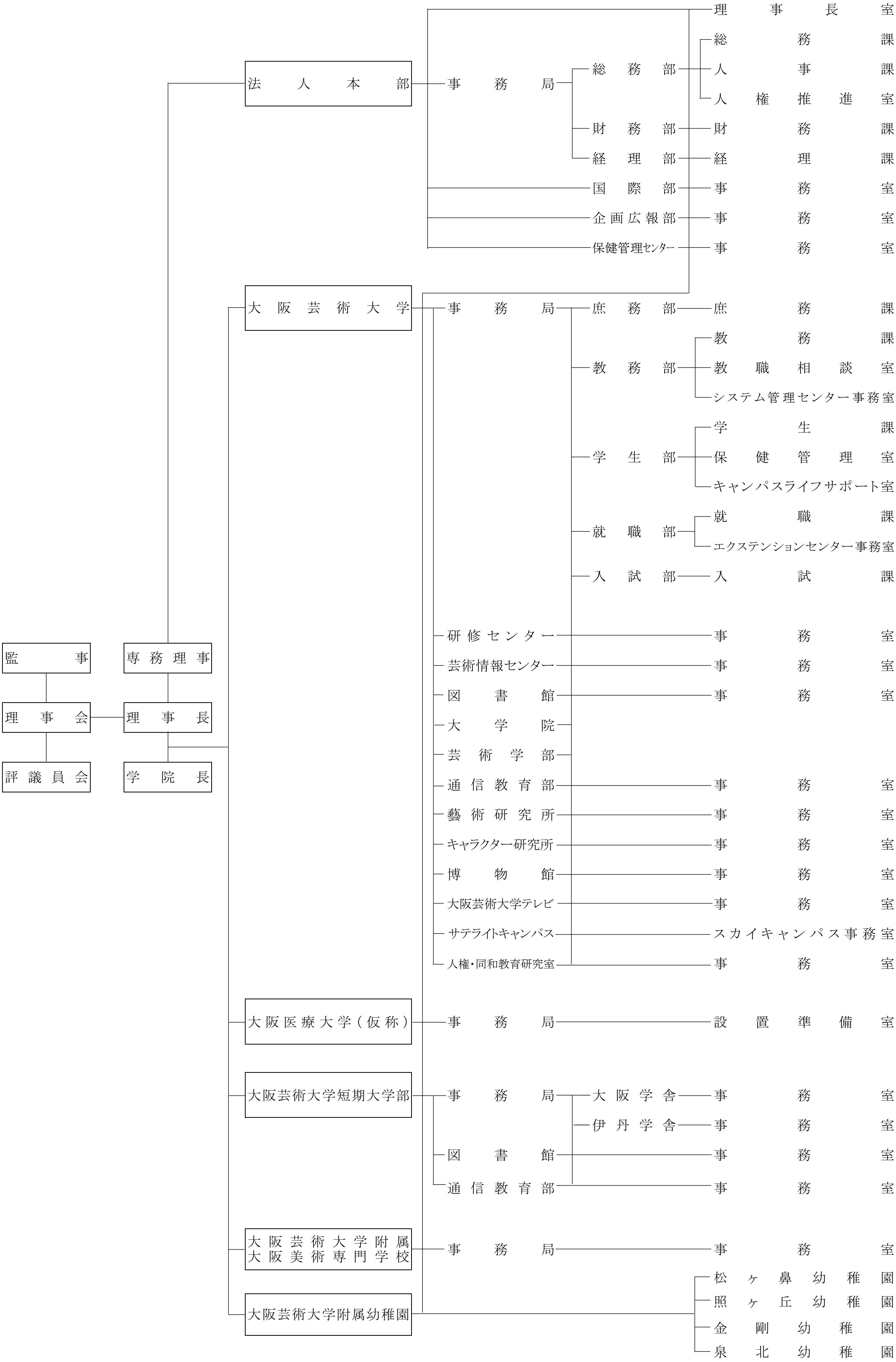
学科名・コース(専攻)名	定員		令和5年度 卒業生数	令和6年度 入学生数	在学生数
	入学	収容			
総合デザイン学科	110	330			
グラフィックデザインコース			17	25	74
デジタルデザインコース			8	17	36
イラストレーションコース			16	21	61
プロダクトデザインコース			14	7	18
インテリアデザインコース			8	8	16
小計	110	330	63	78	205
コミック・アート学科	110	220			
マンガコース			5	15	22
コミックイラストコース			27	31	63
アニメコース			4	12	22
フィギュアコース			3	10	18
美術・工芸コース			20	25	45
小計	110	220	59	93	170
総計	220	550	122	171	375

大阪芸術大学附属幼稚園

(令和6年5月1日現在)

園名	定員	令和5年度 卒園児数	令和6年度 入園児数	在園児数
松ヶ鼻幼稚園	200	67	69	192
照ヶ丘幼稚園	210	31	24	77
金剛幼稚園	330	49	35	113
泉北幼稚園	170	13	4	22
総計	910	160	132	404

学校法人塚本学院事務組織機構図



◇役員・教職員の概要 等

1. 役員(令和6年5月1日現在)

- 理 事 定数7～9名、任期4年、実数8名
 監 事 定数2名、任期4年、実数2名
 理 事 会 定例3回、臨時0回、開催計3回(令和6年度実績)
 ※参考
 評 議 員 定数15～19名、任期4年、実数19名
 評議員会 定例2回、臨時0回、開催計2回(令和6年度実績)

理事 8名

理事長	塚本 邦彦
副理事長	塚本 英邦
専務理事	亀谷 眞一
理事	寺西 剛
理事	上原 三至
理事	大沢 政徳
理事	工藤 皇
理事	小出 秀文

監事 2名

監事	佐藤 重勝
監事	林 佐智代

評議員 19名

2. 教職員の概要(令和6年5月1日現在)

(単位:人)

	専任教員	非常勤 教職員	専任 事務職員	計
大阪芸術大学	263	748	70	1,081
大阪芸術大学短期大学部	66	139	18	223
大阪芸術大学附属大阪美術専門学校	13	64	9	86
大阪芸術大学附属松ヶ鼻幼稚園	9			9
大阪芸術大学附属照ヶ丘幼稚園	9			9
大阪芸術大学附属金剛幼稚園	8			8
大阪芸術大学附属泉北幼稚園	5			5
法人本部			33	33
合 計	373	951	130	1,454

・令和 6 年度の主な事業の概要

大阪芸術大学グループ

・大阪芸術大学グループビジョン 2030 の策定

本学院・大阪芸術大学グループの創立 85 周年となる 2030 年に向けた中長期構想として、令和 2 (2020) 年に策定した「大阪芸術大学グループビジョン 2025」に引き続き、大学・短期大学・専門学校・幼稚園のそれぞれの建学の精神、教育理念について、新たな視点から見つめ直し、あるべき将来像の実現に向けた 5 年間の基本的指針として「大阪芸術大学グループビジョン 2030」を策定した。

・内部質保証の推進

本学は自律的な組織として学則に定める使命・目的を達成するため、塚本学院自己点検・評価規程をはじめ各校自己点検・実施規程を制定し、自己点検・評価のための基本組織を整備している。また、各校の学則において、「自己点検・評価」の条項を定め、その方針を明示している。

各校の自己点検実施委員会は、大学・短大においては学長を委員長とし、副学長、各学科長、教養課程主任教授、事務局長、事務室各事務部長・各課長、法人本部専務理事、総務部長等により構成し、専門学校においては校長を委員長とし、各学科・コース長より選出された委員(5名)と、事務局より事務長ならびに課長により構成されており、各部門における諸課題を自己点検実施委員会に集約し体系的に点検・評価を行うことが可能な体制が整備されている。

内部質保証のための自己点検・評価は、各校自己点検実施規程に基づいて設置する自己点検実施委員会が実施主体となっており、全学的な自己点検・評価に基づく改革・改善の指示を行うことが可能な体制となっている。自己点検実施委員会の指示により、作業部会が自己点検・評価活動を取りまとめた自己点検評価書を作成し、自己点検実施委員会を経て自己点検運営委員会(法人本部常務会)に上程され、理事会・評議員会の承認を得て公表される。

令和 4 年度には大阪芸術大学短期大学部において「大阪芸術大学短期大学部内部質保証方針」を、令和 5 年度には大阪芸術大学において「大阪芸術大学内部質保証方針」をそれぞれ制定し、3 つのポリシーを起点とする教育の質保証と中長期的な計画を踏まえた本学全体の質保証の双方についての自己点検・評価を行っている。

◇各校における自己点検・評価活動の状況(各校ウェブサイト URL)

- ・大阪芸術大学 <https://www.osaka-geidai.ac.jp/guide/jihee>
- ・大阪芸術大学短期大学部 <https://osaka-geitan.jp/guide/financial/>
- ・大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 <https://www.bisen.ac.jp/outline/reports/>
- ・大阪芸術大学附属幼稚園
 - ・松ヶ鼻幼稚園 <http://www.kids.osaka-geidai.ac.jp/m/disclosure/>
 - ・照ヶ丘幼稚園 <http://www.kids.osaka-geidai.ac.jp/t/disclosure/>
 - ・金剛幼稚園 <http://www.kids.osaka-geidai.ac.jp/k/disclosure/>
 - ・泉北幼稚園 <http://www.kids.osaka-geidai.ac.jp/s/disclosure/>

・研究活動支援の取り組み

競争的資金による公的研究費として、文部科学省、日本学術振興会の科学研究費助成事業(科研費)について、令和 6 年度は、計 4 件が採択(大学 3 件、短大 1 件、いずれも継続課題)されている。令和 7 年度科研費については、令和 6 年 7 月に大学ウェブサイトにて学内公募説明会を実施しており、「基盤研究(B)」「基盤研究(C)」「国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)」「若手研究」

等の研究課題に対して、大学、短大あわせて計 8 件の応募申請を行い、うち大学から 1 件(「基盤研究(C)」)が採択されている。

科研費以外の公的研究費(委託研究事業)では、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業・チーム型研究(CREST)の研究領域「生体マルチセンシングシステムの究明と活用技術の創出」について 1 件(研究課題「サイバー社会における多重世界予測符号化の解明」における「VR 技術により誘導される脳と行動の変容」)(研究担当者)が採択(継続課題)されている。

本学独自の応募型研究助成制度である「塚本学院教育研究補助費」(研究課題 1 件につき 500,000 円を上限)について、令和 6 年度は、大学 31 件、短大 12 件※、専門学校 1 件の計 44 件(22,247,930 円)が採択されている。また、令和 6 年 11 月に令和 7 年度教育研究補助費の申請受付を行い、教育研究補助費運営委員会による書類審査の結果、大学 32 件、短大 15 件※、専門学校 1 件の計 48 件(22,970,510 円)が採択となった。

塚本学院出版助成(1 件につき、1,500,000 円を上限)及び大阪芸術大学藝術研究所研究調査補助について、令和 6 年 6 月より令和 7 年度分の申請受付の公示を行ったが、該当する研究課題の応募はなかった。

※短大の採択数には新大学設置準備委員の採択数を含む。

・産官学連携事業・委託事業

市町村等の地域社会との連携事業や、製品開発の提案、ポスター・表紙デザイン・動画制作、イベントの企画運営等、本学では地域、産業との共同研究や開発に積極的に取り組み、学生の創造性やアイデアの可能性を追求している。総合芸術大学の特色である広い分野と多彩な教育を最大限に活かして、さまざまな実学の機会を設けている。

- ・ 3 月 20 日～5 月 31 日 株式会社ヤマハミュージッククリエイトからの委託により、大阪芸術大学工芸学科学生が音楽をテーマにしたアート作品を制作。「アートで届けよう 音楽の魅力」と題して、ヤマハミュージック大阪なんば店 1F フロア(体験エリア)にて展示。
- ・ 4 月 橋本市と大阪芸術大学デザイン学科との官学連携事業として、橋本市紀見こども園のシンボルマーク、ロゴタイプ、クラス・各部屋のプレートなどのデザインを行う。
- ・ 4 月 19 日～7 月 19 日 万里春酒造株式会社(富田林市)からの委託により同社クラフトビール缶のパッケージデザインを大阪芸術大学デザイン学科が実施。
- ・ 4 月 26 日～7 月 25 日 株式会社ユニクロと大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、地域活性化の取り組みとして、大阪の食文化や観光地をテーマにした T シャツ(UT)のデザイン・商品化を行う。
- ・ 4 月 26 日～7 月 12 日 サントリー株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、「プレミアムモルツが日常の幸せに寄り添うために」をテーマにしたノベルティの企画・検討を実施。
- ・ 5 月 社会福祉法人大阪府共同募金会からの委託により「赤い羽根共同募金」のポスターデザインを大阪芸術大学デザイン学科が制作。
- ・ 6 月 大阪府和泉市(南池田中学校区地域教育協議会・三葉学園子育てネット)が主催する地域連携事業「トンネルアート・プロジェクト」に大阪芸術大学初等芸術教育学科の学生が参加。地元の中学生、小学生と合同で壁画アートを制作。
- ・ 6 月 1 日～12 月 31 日 verbal and dialogue 株式会社からの委託により、大阪芸術大学デザイン学科が AI 工事写真アプリ「Cheez」の UI 原則に基づくサービスの分析、既存アプリ、PC ブラウザの調査、基本デザインの作成を行う。
- ・ 6 月 28 日～9 月 28 日 TOPPAN 株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携事業により、

大阪市生野区のロート製菓株式会社による地域交流・壁面アート制作イベントのサポートを担当。

- ・ 7 月～10 月 株式会社電通と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、「人権アートプロジェクト」の人権啓発ポスターを制作。
- ・ 7 月 20 日 ららぽーと堺と大阪芸術大学初等芸術教育学科との産学連携による子育てイベント「キッズアートデー」を開催。
- ・ 7 月 31 日 KITTE 大阪との産学連携により、KITTE 大阪グランドオープンの記念モニュメントを大阪芸術大学デザイン学科が制作。
- ・ 8 月 株式会社西山酒造場と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携による授業「デザインプロジェクト」の一環として、西山酒造場にオープンした複合施設「鼓傳」内カフェの空間デザイン(装飾、アレンジ)を実施。
- ・ 5 月 25 日～26 日 象印マホービン株式会社、ニコンのり株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、デザイン学科「世界のおにぎり」プロジェクトから生まれたおにぎりをグランフロント大阪 うめきた広場で行われた「大阪産(もん)マルシェ Rord to EXPO 2025」にて販売。好評を博し、大阪・関西万博 大阪外食産業協会パビリオンの象印マホービン株式会社がプロデュースする店舗において「世界のおにぎり」の販売が決定。
- ・ 8 月 12 日 近鉄百貨店と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、あべのハルカス 10 周年を記念したライブペイント・イベントを実施。
- ・ 9 月 大阪府警察富田林警察署(交通課交通総括係)からの委託により、交通安全の啓発ポスター、チラシを大阪芸術大学デザイン学科が制作。
- ・ 9 月 TOPPAN ホールディングス株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との連携事業として、うめきた公園インフォメーションギャラリー「PLAT UMEKITA」のオープニング企画に参加。アップサイクルをテーマにした作品制作等のワークショップを実施。
- ・ 9 月 兵庫県くらし安全課からの委託により、大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科が若者の自転車ヘルメット着用を呼びかける啓発動画(CM)を制作。
- ・ 9 月 21 日～3 月 31 日 堺市役所(自転車企画推進課)と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、「サイクルシティ堺」のシンボル・ロゴマークを制作。
- ・ 10 月 1 日～31 日 積水樹脂株式会社と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携により、「歩道を安全で魅力ある空間にするストリートファニチャーのデザイン」をテーマに、街路や駅などのパブリックスペースで活用されるベンチや車止め、柵などストリートファニチャーのコンセプト・アイデアの提案を実施。
- ・ 10 月 2 日～2 月 14 日 株式会社関西みらい銀行からの委託により、大阪芸術大学デザイン学科が大阪府警察と連携して、関西みらい銀行無人 ATM 出張所(大阪府内 3 店舗)のシャッターに特殊詐欺被害防止啓発のデザインを制作。
- ・ 10 月 8 日～3 月 31 日 株式会社オートバックスセブンからの委託により、大阪芸術大学デザイン学科学生が兵庫県神戸市のショッピングモール「サンシャインワープ神戸」の壁面サインのデザインを制作。
- ・ 10 月 10 日～3 月 31 日 株式会社紀陽銀行からの委託により、大阪芸術大学デザイン学科が社内誌の表紙イラストの制作。「地域との価値共創」を表現したサイネージ画像及びイベントのイメージポスターを制作。
- ・ 10 月 18 日～1 月 24 日 株式会社サザビーリーグ ICL カンパニーと大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、アフタヌーンティーのテーマ(『友達にギフトで贈りたいポーチ』)に基づいた商品の企画立案、商品サンプルを制作。
- ・ 11 月 21 日～3 月 一般社団法人大阪府清港会からの委託により、大阪芸術大学デザイン学科がコ

ンペ形式によるコーポレート・ロゴの制作を実施。

- ・ 11 月 23 日～12 月 25 日 三井ショッピングパークららぽーと EXPOCITY と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、AR(拡張現実)を用いたフォトスポット「エキスポ de パシャリ!!〜トリック クリスマス〜」を制作。
- ・ 11 月 30 日～1 月 25 日 株式会社ロイヤルソフトセンターからの委託により大阪芸術大学デザイン学科が大阪府遊技業協同組合(「大遊興」)の社会貢献活動シンボルマークを制作。
- ・ 12 月 株式会社グローバル・コムズ・ジャパンと大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、宿泊施設の室内壁面にトリックアートを制作。
- ・ 12 月 大阪信用金庫と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトとして、防災備蓄用パン(缶詰パン)のパッケージデザインを制作。
- ・ 12 月 1 日～25 日 あべのハルカス近鉄本店ウイング館にて、近鉄百貨店と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクト「近鉄のクリスマスフェア 2024」クリスマスアドベントカレンダーを制作・展示。
- ・ 1 月 25 日～2 月 11 日 大阪府近つ飛鳥博物館と大阪芸術大学との連携協定に基づく企画展「脈打つ情景―近つ飛鳥風土記の丘は目覚める―」(アートと考古学の対話 次世代からの問いシリーズ Vol.2)を芸術計画学科(「プロジェクト演習」近つ飛鳥プロジェクトチーム)の企画・運営により開催。
- ・ 1 月 31 日 和歌山県橋本市からの委託により大阪芸術大学デザイン学科の学生が橋本市市制 20 周年の記念ロゴマークを制作。
- ・ 2 月 14 日 ホテルインターゲート大阪 梅田と大阪芸術大学デザイン学科との産学連携プロジェクトにより「Wa-Osaka～大阪の輪・和・笑～」をテーマ・コンセプトにしたコンテンツ(観光スポット紹介冊子「大阪すごろく BOOK」、「大阪紹介ムービー」「大阪 音クイズ」「Wa 大阪風呂敷」)を制作。

・芸術活動の支援、学生主体のイベントの実施

学内外の芸術活動や展覧会等の文化的事業に協賛し、活力ある社会を目指して支援するとともに、学生参加型のイベントにも積極的に協力し、学生の学びをサポートしている。また、さまざまな連携を通して、社会や地域・環境に貢献できる事業にも参画している。

- ・ 8 月 8 日 大阪・なんば Hatch にて開催の FM802 ラジオ発ライブイベント「HIGH! HIGH! HIGH!」に大阪芸術大学芸術計画学科が参加。イベント運営の舞台裏の見学や物販ブースの設営などを体験。
- ・ 8 月 2 日・3 日 兵庫県 AI・HALL(伊丹市立演劇ホール)にて、大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科による舞台芸術、声優、ポピュラーダンス、3 コースのクロスオーバーイベント「芸短パフォーマンスフェス 2024」を開催。
- ・ 8 月 18 日 Bunkamura オーチャードホール(東京)、8 月 22 日 フェスティバルホール、8 月 26 日 愛知県立芸術劇場大ホール、8 月 27 日 Zepp Namba にて「大阪芸術大学プロムナードコンサート 2024」を開催。
- ・ 9 月 4 日～6 日 東京ビッグサイトにて開催のトータルインテリアの国際見本市「LIVING & DESIGN 2024」に大阪芸術大学デザイン学科がブース出展参加。
- ・ 9 月 4 日～8 日 オーストリア・リンツ市で開催された世界最大級のメディア・アートの祭典「アルス・エレクトロニカ・フェスティバル」に大阪芸術大学アートサイエンス学科の教員・学生の混成チームが作品(「Stance Poker」)を制作・出展した。
- ・ 10 月 4 日 大阪芸術大学芸術情報センターアートホールにて音楽学科主催「AUDIO ROCKET FES 2024」を開催。
- ・ 10 月 25 日 サンケイホールブリーゼにて、「大阪芸術大学 JAZZ & POPS 2024」を開催。

- ・ 10 月 29 日～11 月 9 日 大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス 24 階)にて、「第 27 回学生作品オークション 作品展示販売」を開催。
- ・ 11 月 3 日 御堂筋パーティー実行委員会(大阪府他)主催「御堂筋ランウェイ 2024」に協賛。大阪芸術大学演奏学科学生がパフォーマンス参加。
- ・ 11 月 4 日 ヤマハグランドピアノサロン大阪にて、「大阪芸術大学×ヤマハミュージック大阪なんば店 演奏学科・音楽学科の学生によるオータムコンサート」を開催。
- ・ 11 月 13 日～3 月 31 日 あべのハルカス展望台「ハルカス 300」にて、株式会社ネイキッド (NAKED,INC.)と大阪芸術大学アートサイエンス学科との共同プロジェクト「NAKED CITY LIGHT FANTASIA 2024—GO Around OSAKA—」を開催。
- ・ 11 月 17 日 大阪中央公会堂にて、大阪芸術大学デザイン学科「第 18 回 オオサカデザインフォーラム」を開催。
- ・ 11 月 17 日 NHK 大阪ホールにて、「大阪芸術大学 声優フェスティバルー声の未来ー」を開催。
- ・ 12 月 2 日～12 月 14 日 大阪芸術大学芸術情報センター 展示ホールにて「“世紀のダ・ヴィンチを探せ!” 高校生アートコンペティション 2024」展覧会を開催。
- ・ 12 月 5 日～22 日 大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス 24 階)にて、「第 16 回高円宮殿下記念根付コンペティション記念展」を開催。
- ・ 12 月 5 日 フェスティバルホールにて、「大阪芸術大学 特別演奏会 2024」を開催。
- ・ 12 月 14 日～25 日 「大阪光の饗宴」コアプログラム「OSAKA 光のルネサンス 2024」中之島公園エリアの中之島バラ園において、大阪芸術大学芸術計画学科による「『星命』～中之島から広がる宇宙～」と題したバルーン・アートを制作・展示。
- ・ 12 月 21 日 大阪中央公会堂にて、「クリスマス・ポップスコンサート 2024」を開催。
- ・ 1 月 17 日 大阪・阿倍野のライブハウス「ROCKTOWN」にて、FM802 と大阪芸術大学芸術計画学科のコラボイベント「En Count～music brings us toghre～」を開催。
- ・ 2 月 25 日 ザ・シンフォニーホールにて、「大阪芸術大学ウインド・オーケストラ 第 45 回定期演奏会」を開催。
- ・ 3 月 15 日・16 日 Sky シアターMBS にて、大阪芸術大学舞台芸術学科 令和 6 年度学外公演「真田風雲録」を開催。
- ・ 3 月 30 日 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホールにて、大阪芸術大学 第 46 回オペラ公演「魔笛」を開催。

・創立 80 周年ロゴマークコンペティション

学校法人塚本学院 大阪芸術大学グループが 2025 年に創立 80 周年を迎えるにあたり、大阪芸術大学グループ校(大阪芸術大学、大阪芸術大学短期大学部、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校)に在籍する学生を対象として「創立 80 周年記念ロゴマーク」デザインの応募を実施した。

ロゴマークの制作にあたっては、80 周年を表す「80」の数字と、本学院のめざす「成長」「進化」をデザインに取り入れること条件に 7 月 1 日から 16 日の期間に応募受付を実施し、のべ 151 点の作品が集まった。一次審査を通過した 45 作品の中から厳正なる選考の結果、大阪美術専門学校学生の作品が創立 80 周年のロゴマークに選ばれ、9 月 3 日には大阪芸術大学スカイキャンパス(あべのハルカス 24 階)においてロゴマークコンペティションの授賞式が開催された。

・プロムナードコンサート 2024

毎夏の恒例行事となっている「プロムナードコンサート」は、令和 6 年度も日本各地を巡演し、8 月 18 日の Bunkamura オーチャードホールでの東京公演をかわきりに、22 日に大阪フェスティバルホ

ールにてオーケストラステージを開催。26 日に愛知県芸術劇場大ホール、27 日には再び大阪の Zepp Namba にてポップスステージを開催した。大阪公演のオーケストラステージでは、世界的マエストロである演奏学科の大友直人教授が指揮を務め、ヴァイオリニストの川井郁子教授、ソプラノ歌手の小林沙羅准教授、ピアニストの熊本マリ教授、仲道祐子教授、今川裕代教授と、本学の教員、学生による豪華なプログラムが実現した。大阪芸術大学管弦楽団、混成合唱団として参加した演奏学科の学生たちは、一流の音楽家とともに見事な演奏を披露した。コンサートのポップスステージでは、1 年生全員によるゴスペルから始まり、学内オーディションで選ばれた学生バンドが登場。学生たちは3 都市の各会場で真剣なリハーサルを重ね、大舞台を経験して大きく成長することができた。

(各公演の来場者数…8/18 Bunkamura オーチャードホール 1,467 名、8/22 フェスティバルホール 2,309 名、8/26 愛知県芸術劇場大ホール 2,203 名、8/27 Zepp Namba 612 名)

・その他の取り組み

<国際交流>

- ・10 月 21 日～27 日 大阪芸術大学芸術情報センター展示ホールにて「第 32 回日中交流作品展」を開催。
- ・11 月 13 日～19 日 大阪芸術大学芸術情報センター展示ホールにて「第 33 回日韓交流作品展」を開催。
- ・姉妹校・海外交流協定に基づく相互留学制度により、弘益大学校(韓国)、ミネアポリス美術デザイン大学(米国)、アートセンターデザイン大学(米国)より、大阪芸術大学に 7 名(デザイン学科 3 名、工芸学科 2 名、キャラクター造形学科 2 名)の留学生を受け入れ。
- ・8 月 19 日～28 日 英国夏期セミナーとして、オックスフォード大学 セント・エドモンド・ホールにおける語学研修に大阪芸術大学から 20 名、大阪芸術大学短期大学部から 2 名の学生が参加。

<教育組織>

- ・大阪芸術大学 芸術学部の入学定員を変更(美術学科 55 名→70 名、音楽学科 45 名→55 名、放送学科 155 名→140 名、写真学科 30 名→50 名、工芸学科 40 名→30 名、演奏学科 80 名→65 名、芸術計画学科 30 名→45 名、キャラクター造形学科 150 名→160 名、アートサイエンス学科 80 名→50 名 ※総定員の増減なし)。
- ・大阪芸術大学短期大学部の入学定員を変更(保育学科 100 名→40 名、デザイン美術学科 160 名→220 名 ※総定員の増減なし)。
- ・大阪芸術大学短期大学部通信教育部保育学科の学生募集を停止。

・大阪芸術大学附属幼稚園

教育目標の「生きる力とおもいやりのこころ」に基づき令和 6 年度も様々な活動や行事に取り組みました。友だちと一緒に力を合わせて取り組むと楽しいという充実感や、頑張ってやり遂げた時の達成感を得ることができるような内容となりました。

・園外保育

6 月には海遊館、11 月には関西サイクルスポーツセンターにて 4 園合同による園外保育を実施しました。海遊館では 8 階から順に 1 階まで歩きながら、2 匹の大きなジンベエザメや、いろんな魚を鑑賞して大喜び。関西サイクルスポーツセンターでは、変わり種自転車にたくさんチャレンジして楽しみました。昼食はおにぎりを持参して食べ、子どもたちの好奇心を刺激する効果を得る事ができました。

・運動会

9月、10月に園ごとに運動会を行いました。年齢に応じたプログラムを準備し、園児の保護者やご家族を人数制限なく招待。親子競技では親子の絆を深めたり、たくさんの声援の中の運動会で運動意欲を高める事ができました。

•**作陶教室**

大阪美術専門学校の教員及び学生の指導の下、園児が自ら土粘土をこねて制作した作品(器やお皿)を窯で焼き上げ、卒園記念として持ち帰りました。

•**おもちつき**

12月に各園でお餅つきを行い、もち米からお餅になる過程を体験しました。

日本の伝統的な行事としての文化を伝えたり、臼と杵に触れたり、お餅をつく様子を観察して五感を刺激したり、体験することで五感を養う1日となりました。

•**附属4園合同音楽会**

令和7年2月1日、国際交流センターで演奏会を行いました。合唱や、器楽演奏など、大阪芸術大学の音楽教員が園児に本格的な演奏指導を行い、4園の年長児が一堂に会して演奏を披露しました。

•**地域の子育て支援**

大阪府の補助を受けながら、園内外の保護者へ向けてキンダーカウンセラー事業を行いました。

また、未就園児を対象としたおやこ教室や、園庭開放などを年間を通して実施し、地域の親子を園に招き、保育者の指導の下、安全な環境を用意して地域の子育て支援を行いました。

上記の他、お茶のお稽古、スイミング、お誕生日会、こどもクッキング、英語活動、柔道教室、おゆうぎ会、iPad教室、月1回の防災避難訓練など園活動を活発に行いました。

•**大阪医療大学(仮称)設置認可申請**

令和8(2026)年度に開学を予定する大阪医療大学(仮称)医療看護学部 理学療法学科ならびに看護学科(いずれも入学定員40名／総定員320名)の設置認可申請を文部科学省に提出。

Ⅲ. 財務の概要

◇決算の概要

資金収支計算書の主な状況

収入の部では、

学生生徒等納付金収入が、104億3千1百万円となりました。

手数料収入は、入学検定料・試験料収入が主なもので5千6百万円となりました。

補助金収入は、経常費補助金で9億3千1百万円、施設設備補助金は8百万円、大阪府等の地方公共団体補助金は1億1千6百万円となり、全体で10億5千7百万円となりました。

資産売却収入は、債券の売却等により13億5千5百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、3千9百万円となり、昨年度より3百万円増加しました。

受取利息・配当金収入は、9億3千1百万円となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団交付金収入等で、3億8千9百万円となりました。

前受金収入は、22億6千1百万円となり、昨年度より1百万円の減額となりました。

支出の部では、

人件費支出は、78億2千5百万円で、昨年度より2億9千9百万円減少しました。

教育研究経費支出は、42億8千6百万円で、昨年度より5千7百万円減少しました。

管理経費支出は、15億7千9百万円で昨年より5百万円増加しました。

施設関係支出は、大阪医療大学(仮称)用大阪2号館建物内装他で10億1百万円となりました。

設備関係支出は、教育研究用機器備品、ソフトウェアの購入等で3億7千8百万円となりました。

事業活動収支計算書の主な状況

事業活動収入では、

学生生徒等納付金収入が、104億3千1百万円となりました。

手数料収入は、入学検定料・試験料収入が主なもので5千6百万円となりました。

寄付金は、現物寄付のみで、5千2百万円となりました。

補助金収入は、経常費補助金で9億3千1百万円、施設設備補助金は8百万円、大阪府等の地方公共団体補助金は1億1千6百万円となり、全体で10億5千7百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、3千9百万円となり、昨年度より3百万円増加となりました。

雑収入は、私立大学退職金財団交付金収入等で、3億9千1百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、9億3千1百万円となりました。

資産売却差額は、債券売却時の差額分他で2億4千1百万円となりました。

事業活動支出では、

人件費は、77億3千3百万円となり、昨年度より2億4千9百万円減少しました。

教育研究経費は、65億1千3百万円となり、昨年度より9千万円減少しました。

管理経費は、17億9千6百万円となり、昨年度より2百万円減少しました。

資産処分差額は1千8百万円となり、備品、図書の廃棄分と保証金処分の分です。

貸借対照表の主な状況

資産の部では、

固定資産の内、有形固定資産が510億1千8百万円となり、昨年比9億8千1百万円の減少となりました。

特定資産は、昨年から増減ございません。

その他の固定資産は、56億9千5百万円となり、昨年比3億3千6百万円の増加となりました。

流動資産は、128億1千3百万円となり、昨年比20億7千6百万円の減少となりました。

資産の部合計は、898億2千6百万円となりました。

負債の部では、

固定負債は、33億5千3百万円となり、昨年比9千4百万円の減少となりました。

流動負債は、35億1千万円となり、昨年比2億3千1百万円の増加となりました。

負債の部合計は、68億6千4百万円となり、昨年比1億3千7百万円の増加となりました。

純資産の部では、

基本金は、1,222億7千3百万円となり、昨年比8億3百万円の増加となりました。

繰越収支差額は、△393億1千2百万円となり、昨年比△36億6千3百万円となりました。

純資産の部合計が正味財産となり、829億6千1百万円となります。

◇その他

①有価証券の状況

(単位:千円)

種 別	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	25,300,000	23,782,946	△ 1,517,054
株式	100,618	185,805	85,186

②借入金の状況

借入金はありません。

③学校債の状況

学校債は発行していません。

④寄付金の状況

現在募集していません。

⑤補助金の状況

※経常費補助金の獲得金額推移

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般補助	310,523	408,979	309,775	312,886	341,778
特別補助	15,809	12,964	5,193	1,620	4,947
授業料等減免費	551,922	578,754	598,599	610,562	585,252
合計	878,254	1,000,697	913,567	925,068	931,977

⑥収益事業の状況

私立学校法上の収益事業に該当する事業はありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

関連当事者との取引はありません。

イ) 出資会社

ありません。

⑧学校法人間財務取引

学校法人間財務取引は行っておりません。

◇経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

学院全体として、学生生徒等納付金は昨年度より1億9千万円減少しましたが、学生生徒数の安定的確保に尽力していきます。

人件費依存率も下がりました。引き続き人件費の削減を進めていきます。

財政基盤の強化に向けて支出構造の再検討を行い、収支改善を図っていきます。

「学校法人塚本学院大阪芸術大学グループビジョン2030」に基づき、これまで積み重ねてきた80年の歴史と伝統にたゆまぬ革新を融合させながら、一步一步強く進んでいきます。

資金収支計算書（5ヵ年推移）

(単位:千円)

収入の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	10,033,854	10,373,108	10,516,313	10,626,823	10,431,185
手数料収入	65,466	68,754	68,871	62,945	56,739
寄付金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	1,070,125	1,446,941	1,260,678	1,188,086	1,057,338
資産売却収入	12,518,009	9,652,677	9,269,503	1,932,597	1,355,399
付随事業・収益事業収入	12,431	21,386	24,495	36,674	39,719
受取利息・配当金収入	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532	931,403
雑収入	471,622	484,305	400,440	492,111	389,807
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	2,402,809	2,394,474	2,425,187	2,262,665	2,261,137
その他の収入	2,895,013	566,052	787,520	650,662	6,577,316
資金収入調整勘定	△ 2,965,669	△ 3,133,314	△ 2,956,646	△ 2,948,514	△ 2,602,004
前年度繰越支払資金	1,031,470	1,187,696	8,817,616	16,452,507	14,179,637
収入の部の合計	28,632,437	24,541,890	31,794,053	31,733,093	34,677,679

支出の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	7,998,791	7,961,662	7,885,595	8,125,321	7,825,463
教育研究経費支出	4,017,777	3,812,679	4,355,186	4,343,777	4,286,357
管理経費支出	1,365,065	1,472,550	1,501,857	1,574,667	1,579,708
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	1,220,326	1,626,405	867,455	503,847	1,001,210
設備関係支出	640,587	600,862	599,136	493,382	378,318
資産運用支出	12,472,779	0	0	2,490,734	7,498,014
その他の支出	783,023	1,146,538	1,009,232	976,007	1,017,054
資金支出調整勘定	△ 1,123,607	△ 896,424	△ 876,919	△ 954,282	△ 1,230,687
翌年度繰越支払資金	1,187,696	8,817,617	16,452,507	14,179,637	12,322,239
支出の部の合計	28,632,437	24,541,890	31,794,053	31,733,093	34,677,679

活動区分資金収支計算書（5ヵ年推移）

(単位:千円)

	科目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	10,033,854	10,373,108	10,516,313	10,626,823	10,431,185
		手数料収入	65,466	68,754	68,871	62,945	56,739
		經常費等補助金収入	1,000,921	1,137,063	1,043,424	1,068,125	1,048,503
		付随事業収入	12,431	21,386	24,495	36,674	39,719
		雑収入	471,622	484,305	400,440	492,111	389,807
		教育活動資金収入計	11,584,294	12,084,615	12,053,545	12,286,681	11,965,953
	支出	人件費支出	7,998,791	7,961,662	7,885,595	8,125,321	7,825,463
		教育研究経費支出	4,017,777	3,812,679	4,355,186	4,343,777	4,286,357
		管理経費支出	1,365,065	1,472,550	1,501,857	1,574,667	1,579,708
		教育活動資金支出計	13,381,633	13,246,891	13,742,639	14,043,649	13,691,529
	差引		△ 1,797,339	△ 1,162,276	△ 1,689,094	△ 1,756,968	△ 1,725,575
	調整勘定等		124,674	55,622	64,299	△ 125,220	48,561
	教育活動資金収支差額		△ 1,672,665	△ 1,106,654	△ 1,624,794	△ 1,882,305	△ 1,677,013
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	69,204	309,878	217,254	119,961	8,835
		施設設備売却収入	1,800	480	266	1,089	3,688
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	140,000	0	0	0	0
		減価償却引当特定資産取崩収入	0	0	0	0	3,000,000
		施設整備等活動資金収入計	211,004	310,358	217,520	121,050	3,012,523
	支出	施設関係支出	1,290,326	1,626,405	867,455	503,847	1,001,210
		設備関係支出	640,587	600,862	599,136	493,382	378,318
		減価償却引当特定資産繰入支出	0	0	0	0	3,000,000
		施設整備等活動資金支出計	1,930,913	2,227,267	1,466,592	997,230	4,379,528
	差引		△ 1,719,909	△ 1,916,909	△ 1,249,072	△ 876,179	△ 1,367,005
	調整勘定等		398,665	△ 491,032	100,113	27,666	435,358
	施設整備等活動資金収支差額		△ 1,321,244	△ 2,407,941	△ 1,148,959	△ 848,512	△ 931,646
	小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動収支差額）		△ 2,993,909	△ 3,514,595	△ 2,773,753	△ 2,730,818	△ 2,608,660
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	12,516,209	9,652,197	9,269,237	1,931,508	1,351,711
		その他の収入	2,064,804	70,779	57,639	89,170	3,053,988
		小計	14,581,013	9,722,885	9,326,877	2,020,678	4,405,700
		受取利息・配当金収入	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532	931,403
		その他の収入他の活動資金収入計	15,678,320	11,202,697	10,506,949	2,997,211	5,337,104
	支出	有価証券購入支出	10,472,779	0	0	2,490,734	1,498,014
		その他の支出	2,055,406	58,397	98,089	62,527	3,073,826
		小計	12,528,185	58,397	98,089	2,553,261	4,571,841
		その他の活動資金支出計	12,528,185	58,397	98,089	2,553,261	4,571,841
	差引		3,150,135	11,144,300	10,408,859	443,949	765,262
	調整勘定等		0	216	△ 215	14,000	△ 14,000
	その他の活動資金収支差額		3,150,135	11,144,516	10,408,644	457,949	751,262
	支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）		156,226	7,629,921	7,634,890	△ 2,272,869	△ 1,857,398
	前年度繰越支払資金		1,031,467	1,187,696	8,817,616	16,452,507	14,179,637
	翌年度繰越支払資金		1,187,696	8,817,617	16,452,507	14,179,637	12,322,239

事業活動収支計算書（5ヵ年推移）

(単位:千円)

科 目			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	10,033,854	10,373,108	10,516,313	10,626,823	10,431,185
		手数料	65,466	68,754	68,871	62,945	56,739
		寄付金	0	0	0	0	0
		経常費等補助金	1,000,921	1,137,063	1,043,424	1,068,125	1,048,503
		付随事業収入	12,431	21,386	24,495	36,674	39,719
		雑収入	481,554	484,703	401,960	492,264	391,846
		教育活動収入計	11,594,226	12,085,013	12,055,066	12,286,833	11,967,993
	支出	人件費	7,890,501	7,870,348	7,762,840	7,982,874	7,733,253
		(うち退職給与引当金繰入額)	577,438	560,592	424,504	526,483	428,577
		教育研究経費支出	6,100,987	5,911,455	6,560,067	6,603,752	6,513,499
		(うち減価償却額)	2,082,193	2,097,904	2,202,215	2,254,711	2,226,636
		管理経費支出	1,572,976	1,687,780	1,728,544	1,793,438	1,796,052
		(うち減価償却額)	207,910	215,230	226,686	218,770	216,343
		徴収不能額等	250	15	725	550	0
教育活動支出計	15,564,714	15,469,598	16,052,177	16,380,615	16,042,804		
教育活動資金収支差額		△ 3,970,488	△ 3,384,585	△ 3,997,111	△ 4,093,781	△ 4,074,811	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金収入	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532	931,403
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532	931,403
	支出	借入等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		1,097,307	1,479,812	1,180,072	976,532	931,403
経 常 収 支 差 額		△ 2,873,181	△ 1,904,773	△ 2,817,038	△ 3,117,248	△ 3,143,407	
特別収支	収入	資産売却差額	861,935	2,429,469	2,616,393	140,059	241,538
		その他の特別収入	76,170	322,372	225,909	125,306	61,026
		現物寄付	6,966	12,494	8,655	5,345	52,191
		施設設備補助金	69,204	309,878	217,254	119,961	8,835
		特別収入計	938,105	2,751,841	2,842,303	265,365	302,565
	支出	資産処分差額	58,429	12,734	31,466	4,125	18,700
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		過年度修正額	0	0	0	0	0
		特別支出計	58,429	12,734	31,466	4,125	18,700
特別収支差額		879,676	2,739,107	2,810,836	261,240	283,865	
基本金組入前当年度収支差額		△ 1,993,505	834,335	△ 6,202	△ 2,856,008	△ 2,859,542	
基本金組入額合計		△ 1,278,802	△ 2,185,457	△ 1,240,610	△ 971,625	△ 804,019	
当年度収支差額		△ 3,272,307	△ 1,351,122	△ 1,246,812	△ 3,827,633	△ 3,663,562	
前年度繰越収支差額		△ 25,956,957	△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	△ 35,648,844	
基本金取崩額		1,552	3,365	1,071	0	322	
翌年度繰越収支差額		△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	△ 35,648,844	△ 39,312,084	

(参考)

事業活動収入計	13,629,638	16,316,667	16,077,441	13,528,732	13,201,962
事業活動支出計	15,623,143	15,482,332	16,083,643	16,384,740	16,061,505

貸借対照表（5ヵ年推移）

資産の部（土地,建物,特定資産,現預金等） (単位:千円)					
	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
固定資産	93,384,760	86,075,843	78,435,931	77,659,145	77,013,347
有形固定資産	54,553,209	54,422,713	53,437,534	52,000,078	51,018,132
特定資産	20,300,000	20,300,000	20,300,000	20,300,000	20,300,000
その他の固定資産	18,531,551	11,353,131	4,698,397	5,359,066	5,695,214
流動資産	1,826,197	9,711,535	17,184,695	14,889,607	12,813,072
資産の部合計	95,210,957	95,787,379	95,620,626	92,548,752	89,826,420

負債の部（退職給与引当金,未払金,前受金）・純資産の部（資産から負債を差し引いた金額）					
	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
固定負債	3,805,867	3,714,554	3,590,446	3,447,897	3,353,657
流動負債	3,555,865	3,389,266	3,352,823	3,279,507	3,510,957
負債の部合計	7,361,732	7,103,819	6,943,269	6,727,404	6,864,614
基本金	117,076,937	119,259,028	120,498,567	121,470,193	122,273,890
第1号基本金	103,556,936	105,739,028	106,978,567	107,950,193	108,753,890
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	12,500,000	12,500,000	12,500,000	12,500,000	12,500,000
第4号基本金	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000
繰越収支差額	△ 29,227,712	△ 30,575,469	△ 31,821,210	△ 35,648,844	△ 39,312,084
純資産の部合計	87,849,224	88,683,559	88,677,357	85,821,348	82,961,805
負債の部及び純資産の部合計	95,210,957	95,787,379	95,620,626	92,548,752	89,826,420

財務比率（5ヵ年推移）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費比率	62.2%	58.0%	58.7%	60.2%	60.0%
人件費依存率	78.6%	75.9%	73.8%	75.1%	74.1%
教育研究経費比率	48.1%	43.6%	49.6%	49.8%	50.5%
管理経費比率	12.4%	12.4%	13.1%	13.5%	13.9%
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生生徒等納付金比率	79.1%	76.5%	79.5%	80.1%	80.9%
補助金比率	7.9%	8.9%	7.8%	8.8%	8.0%
減価償却比率	14.7%	14.9%	15.1%	15.1%	15.2%
経常収支差額比率	△22.6%	△14.0%	△21.3%	△23.5%	△24.4%
基本金組入後収支比率	126.5%	109.6%	108.4%	130.5%	129.5%
純資産構成比率	92.3%	92.6%	92.7%	92.7%	92.4%
負債比率	8.4%	8.0%	7.8%	7.8%	8.3%
総負債比率	7.7%	7.4%	7.3%	7.3%	7.6%